

平成 27 年 12 月 8 日

鹿児島大学病院に入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院医療情報部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 病院診療情報データを用いた医薬品使用実態分析

【研究機関】 鹿児島大学病院 医療情報部

【研究責任者】 医療情報部 准教授 宇都 由美子

【研究の目的】

近年、病気を治療する環境は、地域完結型の病病（診）連携体制により、慢性疾患を診るかかりつけの病院や、急性期疾患をみる専門の病院等、病気や治療内容ごとに、病院を選択する状況で、病院毎に処方されたお薬を、患者さんご自身が、管理しています。

今回、診療情報データから、薬の使用実態を明らかにし、服薬安全管理システムを構築することにより、患者さんの安全性の確保ならびに、限りある医療資源の有効活用を目的として研究を行います。

【研究の方法】

鹿児島大学に入院された患者さんで、病院診療情報データ、

DPC等を用いて、持参薬を有する患者さんの特性（年齢、性別、疾患）や、疾患と治療内容、さらに持参薬の現状について調査します。持参薬と院内処方相互チェックに関する医療ICTの介入実績や、有害事象の有無を調査します。入院患者さんの高齢化による疾患特性に基づいて、今後高齢患者さんが増加傾向にあることから、持参薬の活用が病院経営や我が国の医療経済に及ぼす効果を予測します。

●対象となる患者さん

平成26年4月1日から平成27年8月31日までに鹿児島大学病院に入院していた患者さん

●診療録（カルテ）から利用する情報

患者さんの性別、年齢等、病名、治療内容、お薬に関する情報
検査結果、入院日数

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医療システム情報学の研究費で実施しますので、利害の衝突は、発生いたしません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さん、またはご家

族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 医療情報部

准教授 宇都 由美子

電話 099-275-5171 FAX 099-275-5177